

映画上映会のお知らせ

平成23年11月1日

今回、宇治支援学校PTAが主催し、映画上映会を実施することになりました。興味のある方は、お申し込みの上、御覧いただきますようお願いいたします。

1. 場所 京都府立宇治支援学校 体育館 (受付：玄関エントランスホール)

2. 日時 平成23年12月9日(金) 9時45分 受付
10時00分 上映開始

**入場
無料**

3. タイトル 『星の国から孫ふたり』 槇坪 寿鶴子 監督
門野 晴子 原作

京都府立宇治支援学校
PTA会長 前川 良栄

『星の国から孫ふたり』



作家の太田弓子(馬淵晴子)はバークレーから帰国した娘の陽子(加藤忍)、その夫の敏夫(比留間由哲)3歳になる孫のかおると久しぶりに再会した。だが、かおるは、まだおむつも取れず、「ブーラベン…デュワイン!」とまるで宇宙語のような言葉を発し、医者に見てもらおうと「自閉症の疑いがある」との診断。仕事人間の夫は「子育てに問題があるのでは」と陽子を責める…一方、弓子は「自閉症って不思議がいっぱい」と前向きにかおるの成長を見守る。そこに、バークレーから、

発達障害の専門家村井ひとみ(乾貴実子)が訪れ、「アメリカでの積極的な自閉症(オーディズム)への早期発見、早期療育の取り組みは人々が勝ち取ってきた」と語る。弓子の息子・拓也(ミョンジュ)は、ひとみとスカイプで交信しながら発達障害の専門家になる勉強を始める。そんな時、妹のらんも自閉症だと認定されてしまう。再びゆれる家族…。

らんは、幼稚園に、かおるは小学校の特別支援学級に入学する。かおるはそこで母をなくし心を閉ざしたマリアと出会う。「自分本位といわれている自閉症のかおるがマリアを想って泣いた!」かおるの初恋だと喜ぶ陽子達。「みんなに、もっと、かおるとらんのこと、自閉症について知ってもらおう」と弓子達は地域の人たちへ支援の輪を広げるために街に出る。



▼お申し込み方法は、裏ページに記載しております。



お申込み方法

お申し込み先

京都府立宇治支援学校

FAX : 0774-45-2220

担当

中学部
総括主事
牛田

参加希望の方は、事前に申し込み用紙（このFAX送信票）に御記入の上、宇治支援学校まで直接提出していただくか、FAXにて申し込み用紙の送信をお願いいたします。よろしくお願いいたします。

『星の国から孫ふたり』

上映：京都府立宇治支援学校 体育館（受付：玄関エントランスホール）

平成23年12月9日（金） 9時45分 受付 10時00分 上映開始

12月9日の映画上映会に参加します。

所属（ ） お名前（ ）

上映会場

京都府立宇治支援学校

〒611-0031 京都府宇治市広野町丸山10

TEL 0774-41-3701 FAX 0774-45-2220

<http://www.kyoto-be.ne.jp/uji-s/>

